

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 20 年 7 月 11 日 提出]

No.	110	実施済み									
基本方針	7 町民との協働に向けた環境づくり					担当課名	まちづくり推進課				
重点項目	2 町民活動への支援										
取組項目	96 地域担当職員の導入										
経過・現状 (H17.4.1現在)	・地域担当職員の導入について検討。										
推進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 19 年度				
	検討	試行	実施	-	-						
実績評価	B	A	A	-	-	達成年次	平成 19 年度				
	計画見直し	計画どおり	計画どおり	-	-						
行動概要	目標	地域担当職員の導入									
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と行政の協働。 ・地域と行政が情報を共有化することで活力ある地域づくりを進めることができる。 									
	必要性 問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・町民と行政の協働を目指す上で、地域と行政のパイプ役として必要である。 ・地域担当職員の勤務形態などが問題点としてある。 ・地域づくりへの取り組みを、どのようにして広めるか。 									
	対象	全職員 管理職									
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)				
		17年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり懇談会、駐在員会議、地域審議会をそれぞれ開催し、地域担当職員制度を検討。 ・平成19年度から本格的に制度導入することを決定。 				目標 数値				
							効果	歳入(千円)		歳出(千円)	
							効果	歳入(千円)		歳出(千円)	
	18年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐在員会議、地域審議会をそれぞれ開催し、地域担当職員制度について検討。 ・9月からモデル地区(5地区)に試験的に地域担当職員(10名)を配置し、平成19年度からの本格的実施に向けて検証を行ない、問題を解消した。 				目標 数値					
							効果	歳入(千円)		歳出(千円)	
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
19年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員の配置(9地区、18名) ・地域担当職員が、4地区、10回の会議等に参加し、地域と行政が情報を共有し、共に地域課題に取り組む協働のまちづくりを推進した。 				目標 数値						
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
20年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員配置地域(9地域)毎に「地域づくり勉強会(仮称)」を開催し、地域と地域担当職員との意識、情報の共有、連携を深め、協働のまちづくりを推進する。 				目標 数値						
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
21年度					目標 数値						
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
関係例規等	名称	地域担当職員規則				改正時期					